

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新冠町長 小竹 國昭



町民の皆様、新年明けましておめでとうござい
ます。心新たに輝かしい新春をお迎えのこととお慶び
申し上げますとともに、目ごろより町行政に対する
あたたかいご支援とご協力に対し、厚くお礼申し上
げます。

昨年のわが国を顧みますと、4月に宮崎県で発生
した口蹄疫が全国的に大きな衝撃を与えたことは
記憶に新しいことと思えます。口蹄疫ウイルスは
感染力が極めて強く、牛や豚などの偶蹄類動物だけ
が感染するウイルスですが、終息宣言が出された8
月までに宮崎県で殺処分された家畜は約29万頭に
のぼり、その影響は計り知れないものがありました。

また、この口蹄疫の問題は第一次産業が基幹産業
である当町においても大きな影響を及ぼし、関係機
関、農家の皆様のご協力をいただきながら、防疫
体制を整え、消石灰の散布や消毒マツトの設置など
全町あげて防疫対策に取り組んでまいりましたが、家
畜共進会や農業まつりが中止となるなど、多大な影
響が出たところであります。

一方、政治経済に目を転じると未だ混乱の中に
あって日本という国が将来、どうなってしまうのだ
ろうかという不安は拭いきれませんが、そのような
中、ホツカイドウ競馬存続の決定は、馬産地にとつ

て大きな光明となりました。まだまだ安心はでき
ませんが、日高管内各町とも連携し、馬産地として
後世まで発展できるよう取り組んでまいりたいと
思います。

昨年は、当町において基幹作物であるピーマンの
販売高が5年連続3億円を突破しましたが、異常気
象や不況の影響等でまだまだ厳しい状況が続いて
おります。そのような中、閉校した小学校が再利用
され美術館と児童福祉施設が誕生するなど、町の歴
史にまた新たな1ページが加わったほか、スポーツ、
文化の分野で多くの町民の皆様が活躍されたこと
は大変喜ばしいニュースであると同時に、郷土『新
冠』の誇りでもあります。

本年は当町にとって開町百三十年並びに町制施
行五十年という大きな節目を迎える年であります。
先人の郷土に託した偉大な意志を継承するとと
もに、新しい時代の創造に向け、当町に暮らす全て
の人がキラリと光輝き、郷土を愛してやまないまち
を目指し、全力で取り組んでまいりたいと考えてお
りますので、町民の皆様にもご協力とご理解を賜り
たいと思えます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申
し上げますとともに、皆様にとりまして迎えられる
新しい年が、最良の年となりますようご祈念申し上
げ、新年のご挨拶といたします。